

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-8603

(P2020-8603A)

(43) 公開日 令和2年1月16日(2020.1.16)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
G 0 9 F 7/20 (2006.01) G 0 9 F 7/20
G 0 9 F 1/10 (2006.01) G 0 9 F 1/10 Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号	特願2018-126447 (P2018-126447)	(71) 出願人	595049622
(22) 出願日	平成30年7月3日(2018.7.3)		株式会社ジャストコーポレーション
		(74) 代理人	100087169
			弁理士 平崎 彦治
		(72) 発明者	滝波 正志
			福井県福井市殿下町46号3番地 株式会
			社 ジャストコーポレーション内

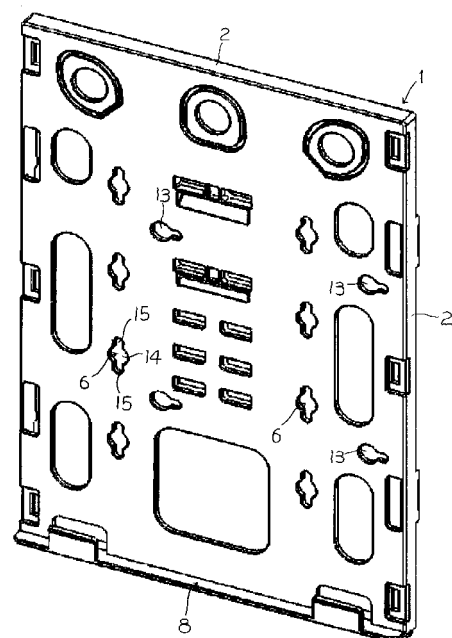
(54) 【発明の名称】 中古車の販売価格表示用基台

(57) 【要約】

【課題】 中古車の販売価格を表示する表示板又は表示シートを配置ことが出来る樹脂製基台の提供。

【解決手段】 上記表示板7又は表示シート21を載置する為の高さ調整プレート9を取付けることが出来る取付け穴6、基台1を所定の角度で傾斜して支えることが出来る支持手段の基部を取付けることが出来る取付け穴6を貫通して設けている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中古車の販売価格を表示する表示板又は表示シートを配置する為の樹脂製基台において、上記表示板又は表示シートを載置する高さ調整プレートを取付けることが出来る取付け穴、基台を所定の角度で傾斜して支えることが出来る支持手段の基部を取付けることが出来る取付け穴を貫通して設けたことを特徴とする中古車の販売価格表示用基台。

【請求項 2】

上記取付け穴を、挿入穴と該挿入穴から連続して延びるスリット穴で構成した請求項 1 記載の中古車の販売価格表示用基台。

【請求項 3】

上記基台を所定の角度で傾斜して支える為の角度調整プレート上端の係止片が係止する係止部を設けた請求項 1、又は請求項 2 記載の中古車の販売価格表示用基台。

【請求項 4】

上記基台の側縁には、補助フレームを連結する為の嵌合穴を設けた請求項 1、請求項 2、又は請求項 3 記載の中古車の販売価格表示用基台。

10

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は中古車市場において、展示される各中古車の価格を表示した表示板又は表示シートを取付ける価格表示用の基台に関するものである。

30

【背景技術】

【0002】

新車の価格は夫々のメーカーが定価として定めており、この定価を基にして客に販売価格を提示している。新車の仕様及び定価は各メーカーが配布しているパンフレットに表示され、またインターネットを介して各メーカーのホームページを開くことで見る事が出来る。そして、具体的な販売価格は客との交渉で上記定価から幾らかを値引きして決められる。

【0003】

しかし、中古車の場合には定価として定まったものではなく、その車の年式、走行距離、及び車両の状態などによってその価格は変動し、その為に各中古車ごとに価格が定められる。

40

そこで、中古車の価格は表示板に表示され、車のフロントから見えるように該表示板は車内にセットされる。一般的には、車内のバックミラーに引っ掛けて取付けている。

【0004】

図 2 2 は従来の価格表示板 (イ) をバックミラー (ロ) に引っ掛けて取付けた場合を示している。上記価格表示板 (イ) は同図に示すように長方形をした薄い板体であり、その表面には価格を表示している。価格は 1, 2, 3 の数字を表している数字板 (ハ)、(ニ)、(ホ) と「万」の文字を表している文字板 (ヘ) を配列して 1 2 3 万と表示している。時にはマジックで手書きすることもあるが、数字板 (ハ)、(ニ)、(ホ) と文字板 (

50

へ)を配列することで、簡単にしかも綺麗に価格を表示できる。その為に、数字板(ハ)、(ニ)、(ハ)及び文字板(へ)は価格表示板(イ)の表面に磁気力を利用して吸着出来るように成っている。

【0005】

価格表示板(イ)の背面側には金属製のワイヤーで作った吊具(ト)が取付けられ、スライドして上方へ伸びるようになっている。

図23はバックミラー(ロ)に価格表示板(イ)を引っ掛けた場合の背面図であり、上記吊具(ト)は価格表示板(イ)の背面に固定した取着板(チ)に取付けられ、上下方向にスライドすることが出来、その為に吊具(ト)をバックミラー(ロ)に引っ掛けて価格表示板(イ)を適当な高さにセットすることが出来る。

10

【0006】

図24は価格表示板(イ)をバックミラー(ロ)に引っ掛ける場合を示しているが、吊具(ト)の空間(リ)にバックミラー(ロ)を通過させて前記図22のように吊下げる必要がある。

しかし、吊具(ト)の幅寸法は小さくて、その為にバックミラー(ロ)に引っ掛けにくい。また、該吊具(ト)の幅寸法をバックミラーの幅寸法と同じ程度に大きくするならば、引っ掛ける作業は容易であるが、価格表示板(イ)が横ズレして傾いてしまう。

【0007】

中古車の価格を表示する表示板に関しては従来から色々なものが存在している。例えば、特開平11-45062号に係る「表示装置」は、上記の価格表示板とは異なり、少ない消費電力で昼夜を問わずに鮮明に表示し、中古車などの販売促進に使用できる表示装置である。

20

すなわち、販売せんとする車輛のバッテリーを電源とし、タイマー回路を経て間欠点灯回路によって多数のLED光源の光を、点灯／(点灯+消灯)の時間比を示す実質上の点滅比率を低比率として、フィルターを経て蛍光色印刷層と遮光印刷層によって価格等を色分けした表面板の前面に点滅表示することにより、見掛け上1／1若しくはその近傍の点滅比率として視認させるよう構成している。

この「表示装置」は、LED光源を利用することで夜間でも表示可能であるが、むしろ明るい昼間が見え難い。そして、電子回路を必要とするためにコスト高に成ると共に、バッテリーの電源を消費するなど、色々問題がある。

30

【0008】

実用新案登録第3202691号に係る「中古車の価格表示板」は、中古車のバックミラーに引っ掛けて価格を表示することが出来る中古車の価格表示板である。

すなわち、表示板の背面側上部に固定した取着板に吊具を取付けた構造とし、該吊具は両縦片と上片を有して上記取着板に沿って縦片をスライド可能とし、両縦片間距離を上記バックミラーの幅寸法より大きくしている。

【0009】

該表示板はバックミラーに正面から引っ掛けることで取付け易く、しかもバックミラーに引っ掛けた状態での横ズレを生じることなく安定する。しかし、引っ掛けられる表示板は下方へ垂下して配置されるが、車両のフロントガラスの傾斜によっては見え難い場合があり、また表示板はプラスチックや金属板にて構成して剛性のあるプレートと成っている。

40

【0010】

特に、フロントガラスの傾斜が大きなスポーツカータイプの車両の場合、バックミラーに吊設した表示板とフロントガラスとの間には大きな空間が形成され、その為に正面から該表示板は見え難いといった問題もある。

一方、ダッシュボード上に表示板を載置する型式であれば、金属製の表示板本体にマグネットを介して数字板を取付ける形態とする場合、全体の重量は大きく成り、取扱いが面倒であると共に該ダッシュボードの表面にキズが付く虞がある。

さらに、表示板は中古車の価格のみならず、その他の情報を表示しようとする場合、大

50

きさが足らなくて表示スペースが取れないといったことのある。

【特許文献 1】特開平 1 1－4 5 0 6 2 号に係る「表示装置」

【特許文献 2】実用新案登録第 3 2 0 2 6 9 1 号に係る「中古車の価格表示板」

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 1 1】

このように、中古車の価格を表示する表示板は知られているが、上記のごとき問題がある。本発明が解決しようとする課題はこの問題点であり、車両のフロント部に見易い傾斜角度をもって配置することが出来るように支持手段をワンタッチで取付けることが出来、またダッシュボードの表面がキズ付くことなく配置出来るように構成した価格表示用の基台を提供する。

10

【課題を解決するための手段】

【0 0 1 2】

本発明に係る中古車の価格表示用基台は、その表面に表示板又は表示シートが取付けられ、車両のフロント側に配置され、フロントガラスを通して上記表示板又は表示シートに記載されている車両の価格を見ることが出来る。

価格表示用基台は一般に四角形をしたプラスチック製板であり、複数の取付け穴を貫通して設けている。本発明は、これら取付け穴を利用して基台に必要な部品を、止着具を用いることなくワンタッチで手軽に取付け出来るようにしている。

【0 0 1 3】

20

ここで、該取付け穴の具体的な形状は限定しないが、販売価格表示装置を構成するにす為に必要な部品を特別な止着具を用いないで取付けることが出来る穴である。ただし、該取付け穴を利用して取付けられる具体的な部分は限定せず、取付け穴の個数並びにその位置も特定しない。

また、側縁には補助フレームを連結する為の係合部又は嵌入穴を設けている。また、中央部には係止部を設けている。

【発明の効果】

【0 0 1 4】

本発明の中古車の価格表示用の基台は、背面側へ適当な角度で傾斜して支えられる。上記基台は表面に配置した表示板又は表示シートを凭れかけると滑り落ちないように取付けられるが、基台に設けた取付け穴を利用して、表示板又は表示シートが載置される高さ調整プレートや傾斜する基台背面を支える支持手段を取付けることが出来る。取付け穴の具体的な形状は限定しないが、必要とする部品を止着具を用いることなくワンタッチで取付けられる。

30

そして、遠く離れた所から見えるように大きな表示板又は表示シートが配置する必要があるが、その為に基台側部に補助フレームを連結出来る。その際も、基台側縁に設けている係合部又は嵌入穴が利用され、ワンタッチで補助フレームが連結される。

【図面の簡単な説明】

【0 0 1 5】

【図 1】本発明に係る中古車の価格表示装置を構成する基台の実施例で、表面図を表している。

40

【図 2】本発明に係る中古車の価格表示装置を構成する基台の実施例で、背面図を表している。

【図 3】傾斜した基台の背面側を支える支持手段の 1 具体例で、角度調整プレート。

【図 4】(a) は基台背面に角度調整プレートを取付ける前の状態、(b) は基台背面に角度調整プレートを取付けた場合。

【図 5】基台表面に表示板を配置した場合。

【図 6】高さ調整プレートを示す具体例で、(a) は正面斜視図、(b) は背面斜視図。

【図 7】基台に高さ調整プレートを取付けた場合。

【図 8】高さ調整プレートに横長の表示板を配置した場合。

50

【図 9】 (a) は基台の両側に補助フレームを連結して大きくする場合、(b) は補助フレームが連結して大きく成った状態。

【図 10】 大きく成った基台に表示シートを配置した場合。

【図 11】 (a) は基台の両側に補助フレームを連結してさらに大きくした場合、(b) はこの基台に補助フレーム表示シートを配置した状態。

【図 12】 基台に補助フレームを連結する具体的な構造。

【図 13】 (a) は基台を横長に倒し、これに 2 本の高さ調整プレートを取付けた場合、(b) はそれぞれの高さ調整プレートに表示板を配置した場合。

【図 14】 (a) は横長とした基台の上方に補助フレームを連結し、これに 3 本の高さ調整プレートを取付けた場合、(b) はそれぞれの高さ調整プレートに表示板を配置した場合。

10

【図 15】 (a) は横長とした基台に 2 枚の補助フレームを連結し、これに 4 本の高さ調整プレートを取付けた場合、(b) はそれぞれの高さ調整プレートに表示板を配置した場合。

【図 16】 本発明に係る中古車の価格表示の基台支持装置を示す実際例で、(a) は正面斜視図、(b) は背面斜視図。

【図 17】 基台に固定される取付け板を示す具体例で、(a) は正面斜視図、(b) は背面斜視図。

【図 18】 (a) は基台と取付け板と支持装置が分離している状態、(b) は基台に取付け板が固定され、支持装置を取付ける前の状態。

20

【図 19】 (a) 吸着盤をフロントガラスに吸着して基台を支持している場合の背面図、(b) は吸着盤をフロントガラスに吸着して表示板を配置した基台を支持している場合の正面図。

【図 20】 本発明に係る中古車の価格表示の基台支持装置を示す他の実際例で、(a) は正面斜視図、(b) は背面斜視図。

【図 21】 (a) は適当な角度で傾斜した縦長の基台を支持装置にて支持した背面斜視図、(b) は適当な角度で傾斜した横長の基台を支持装置にて支持した背面斜視図。

【図 22】 従来を表示板を示す具体例。

【図 23】 従来を表示板の背面側。

【図 24】 従来を表示板をバックミラーに引っ掛ける状態。

30

【発明を実施するための形態】

【0016】

図 1、図 2 は本発明に係る価格表示用の基台 1 を示す実施例であり、正面図と背面図を表している。該基台 1 は樹脂製であって長方形を成して、周囲にはリブ 2、2・・・を背面側に突出して設けることで、全体の剛性を高めている。背面の中央部には水平方向に延びる複数の係止部 3、3・・・一定間隔をおいて形成され、該係止部 3 には図 3 に示す角度調整プレート 4 の上端に設けている係止片 5 が係止することが出来る。係止片 5 が係止する適当な係止部 3 を選択することで、基台 1 の傾きが調整される。

【0017】

そして、上記係止部 3、3・・・の両側には複数の取付け穴 6、6・・・が一定間隔をおいて貫通して設けている。この取付け穴 6 は中央に円形の大きな挿入穴 14 を有し、この挿入穴 14 の上下には幅の狭いスリット穴 15、15 を連続して設けている。

40

また、向きを異にする取付け穴 13、13・・・が違う場所に貫通して設けている。該取付け穴 13 は大きな挿入穴と一方向へ延びるスリット穴を連続して形成している。

図 3 は角度調整プレート 4 を表し、(a) は表面図、(b) は背面図であるが、上記角度調整プレート 4 は縦長の長方形を有し、その上端には L 形断面の係止片 5 を形成している。

【0018】

図 4 はこの角度調整プレート 4 を使って基台 1 を支える場合を示しているが、(a) は角度調整プレート 4 を取付ける前の状態を、(b) は角度調整プレート 4 を取付けた状態

50

をそれぞれ表わし、基台 1 は背後に傾斜した状態で角度調整プレートにて支えられる。
基台 1 に設けた係止部 3 は背面側から突出し、その断面は逆 L 形をしている。

従って、角度調整プレート 4 の上端に設けた L 形断面の係止片 5 は上記係止部 3 に係止して噛み合うことが出来、基台 1 と角度調整プレート 4 の交差角度は固定され、適度な角度で傾斜した基台 1 は倒れることなく静止することが出来る。

【0019】

基台 1 には複数の係合部 3、3・・・が上下方向に一定の間隔で設けられていて、基台 1 の傾斜角度に応じて角度調整プレートの係止片 5 が係止する係合部 3 は選択される。

ところで、同図の係止部 3 は L 形断面を有しているが、この形状に限定するものではない。基台 3 の厚さは薄い為に、係止片 5 を係止する上で必要な形状であるが、基台 1 の厚さをある程度大きくすれば細長いスリット穴でもよく、係止片 5 は該スリット穴に係合する突片とすることが出来る。

【0020】

ダッシュボードの上面に配置される基台 1 は、その表面に支持される表示板がフロントガラスを通して見えるように適度な角度に傾斜して支持される。ただし、本発明は上記基台 1 を傾斜して支える為の角度調整プレートは支持手段の 1 具体例に過ぎず、図 4 に示すような角度調整プレート 4 に限定しない。ダッシュボードの上面が凹凸面と成っている車両の場合、上記角度調整プレート 4 では基台 1 を支えにくい場合もある。

【0021】

図 5 は上記図 1 に示した基台 1 の表面側に表示板 7 を配置した状態を表している。(a) は表示板 7 a が基台 1 とほぼ同じ大きさの樹脂製のプレートであり、表面には中古車の販売価格である 123 万と表示されている。(b) は表記板 7 b が基台 1 より大きく、その為に両側部は基台 1 からみ出している。表示板 7 b の表面には同じく 123 万と記載していて、これを適度な角度で傾斜している基台 1 に載せて配置することでフロントガラスを通して見ることが出来る。このように表示板 7 b が大きくなることで、遠く離れた所からでも目に留まる。

【0022】

基台 1 の下端には一部に L 形カギを形成している受け 8 を設けていて、この受け 8 に上記表示板 7 の下縁が係合し、そして基台 1 の表面に当接して配置されている。すなわち、表示板 7 は傾斜した基台 1 の表面にもたれ掛り、そして滑り落ちないように受け 8 に載って支えられる。すなわち、表示板 7 は基台 1 に置くだけで、固定はされていない。

ところで、基台 1 に配置した表示板 7 の高さが低い場合には、独立した部材として機能している高さ調整プレート 9 を基台 1 の上方に取付けることが出来る。

【0023】

図 6 は高さ調整プレート 9 を示す具体例であり、(a) は表面斜視図、(b) は背面斜視図を表している。同図に示すように、高さ調整プレート 9 はその下縁に受け部 10 を表面側に突出して設け、受け部 10 の両先端側には表面板 11、11 を垂直方向に設けている。しかも、表面板 11 は受け部 10 の上方と下方へ延びている。そして、高さ調整プレート 9 の背面両側部には、嵌合ピン 12、12 を突出している。

【0024】

図 7 は基台 1 に形成している受け 8 より上方に高さ調整プレート 9 を取付けている場合であり、図 8 はこの高さ調整プレート 9 を取付けた基台 1 に表示板 7 を載せて配置した状態を表している。従って、該表示板 7 は高い位置に配置される。

ここで、上記高さ調整プレート 9 は基台 1 に設けている取付け穴 6、6 を用いて取付けることが出来る。高さ調整プレート 9 の背面に設け嵌合ピン 12 は先端にツバが形成され、この嵌合ピン 12、12 が取付け穴 6、6 に嵌って固定される。

【0025】

図 1 に示しているように、取付け穴 6 は中央に円形の挿入穴 14 を有し、挿入穴 14 から上下方向にスリット穴 15、15 を連続して延ばしている。そこで、大きな先端ツバが挿入穴 14 から挿入したところで、高さ調整プレート 9 を下方へ降ろすならば、嵌合ピン

10

20

30

40

50

12はスリット穴15に導かれて嵌合し、ワンタッチで固定され、特別な止着具は不要である。すなわち、先端ツバはスリット穴15より大きいために、スリット穴15に嵌った嵌合ピン12が該スリット穴15から抜けることはない。

ところで、図1、図2に示す取付け穴6の形状は、挿入穴14を中心として上下方向にスリット穴15、15を延ばしているが、本発明では同図に示す形状に限定はしない。

【0026】

図9に示す実施例は基台1の大きさを拡大して両方向へ拡張する場合を表している。すなわち、補助フレーム16、16が基台1の両側に連結して取付けられる。

補助フレーム16は基台1と同じ縦寸法を有す長方形であり、2本の縦片と上片及び下片を有した枠体で、中央部には3本の横片を設けている。

そして、内側の上記縦片17から突片18、18、18を延ばし、これら各突片18、18、18の背面には対を成すツメ19、19、19を背面側へ突出している。

【0027】

基台1の側部表面には嵌入穴20、20、20が設けられ、この嵌入穴20、20、20に上記ツメ19、19、19が係合することで補助フレーム16は連結して取付けられる。図9(a)は補助フレーム16、16が連結される前の状態を、(b)は基台1の両側に補助フレーム16、16を取付けた場合であり、基台1の横幅寸法は大きく拡大する。

【0028】

このように、補助フレーム16、16を取付けた基台1に大きな表示シート21を配置することが出来る。プラスチック板で構成した表示板7であれば、補助フレーム16、16を必ずしも取付ける必要はないが、紙などの薄いシートに価格を印刷した表示シート21であれば、基台1から外方向へはみ出した部分は撓み変形してしまう為に、図9(b)に示すように基台1の両側に補助フレーム16、16を取付けて図10に示すように大きな表示シート21を配置する。

【0029】

図11は基台1の両側に補助フレーム16、16と補助フレーム22、22を取付け、横幅寸法をさらに拡大した場合の実施例である。補助フレーム16は基台1の側部に形成した嵌入穴20、20、20にツメ19、19、19が係合することで取付けられ、さらに補助フレーム22は補助フレーム16の側部に設けた嵌入穴にツメが係合して取付けられる。

図11(b)は補助フレーム16、16、22、22を連結して大きく成った基台1に中古車の販売価格を表示している表示シート21と該中古車に関する他の情報が記載されている別の表示シート23が配置されている。

【0030】

図12は補助フレーム16を基台1に取付けた場合を示す詳細図である。縦片17は基台1の側面に当接すると共に、縦片17から突出している突片18は基台1の側部表面に当接する。そして、突片18から背面側へ突出しているツメ19は基台1の側部に貫通して設けた嵌入穴20に嵌って係合する。上記ツメ19は対を成す2本で構成され、該嵌入穴20に弾性力を付勢して係合することで、ガタ付くことなく安定して取付けられる。勿論、基台1の側方に補助フレーム16を連結する具体的な構造は同図に示す実施例に限定はしない。

【0031】

図13(a)は基台1を90°回転して横置きにし、そして下端部と中央部に高さ調整プレート9、9を取付けた場合である。

この高さ調整プレート9は、図1、図2に示しているように基台1に貫通して設けた取付け穴13、13・・・が用いられる。該取付け穴13は前記取付け穴6とは向きが違い、スリット穴は一方向にのみ延びた形状と成っている。

そして、図13(b)はそれぞれの高さ調整プレート9、9に表示板24、24を載置した状態を表している。この表示板24、24には中古車の価格123万と表示されてい

10

20

30

40

50

る。同じ価格を表示した表示板 2 4, 2 4 であるが、上下に 2 枚を配置することで客の目に留まり易い効果がある。勿論、同じ価格を記載した 2 枚の表示板 2 4, 2 4 とすることなく、展示される中古車に関する他の情報を他の 1 枚の表示板 2 4 に表示することも出来る。

【0032】

図 1 4 (a) は横置きにした基台 1 の上に補助フレーム 1 6 を連結し、基台 1 の下端部と中央部に高さ調整プレート 9, 9 を取付け、また補助フレーム 1 6 にも高さ調整プレート 9 を取付けている。

そして、図 1 4 (b) に示すごとく、これら高さ調整プレート 9, 9, 9 に 3 枚の表示板 2 4, 2 4, 2 4 を配置している。

10

同じく、図 1 5 (a) は基台 1 に 2 枚の補助フレーム 1 6, 2 2 を連結すると共に、高さ調整プレート 9, 9 . . . を取付けている。そして、図 1 5 (b) に示すように、各高さ調整プレート 9, 9 . . . に表示板 2 4, 2 4 . . . を配置している。

【0033】

図 1 6 は基台 1 の支持装置 2 5 を示す具体例であり、(a) は表面斜視図、(b) は裏面斜視図を表している。同図の 2 6 はフレキシブルアーム、2 7 は取着部、2 8 は吸着盤をそれぞれ表している。

上記取着部 2 7 は中央に筒 2 9 を起立し、この筒 2 9 にボール 3 0 が嵌合している。筒 2 9 に嵌合したボール 3 0 は回転することが出来、その為にフレキシブルアーム 2 6 に対して取着部 2 7 の向きを変えることが可能となる。そして、取着部 2 7 は四角形を成し、その背面には 4 本の嵌合ピン 3 1, 3 1 . . . を起立している。

20

該嵌合ピン 3 1 は先端にツバを設けた L 形状を成し、図 1 7 に示す取付け板 3 2 に取着される。

【0034】

そして、この取付け板 3 2 は前記図 1、図 2 に示した基台 1 の中央部に貫通して設けた取付け穴 6, 6 . . . を利用して図 1 8 に示すように固定される。該取付け板 3 2 の両側部には嵌合ピン 3 3, 3 3 . . . が起立し、該嵌合ピン 3 3 は先端にツバを設けている。

そこで、該嵌合ピン 3 3 は上記取付け穴 6 に嵌って固定されるが、嵌合ピン 3 3 は取付け穴 6 の中央部に設けた挿入穴 1 4 に一旦嵌り、挿入穴 1 4 に嵌った嵌合ピン 3 3 はスリット穴 1 5 に沿ってスライドすることで、嵌合ピン 3 3 はスリット穴 1 5 に嵌合して固定される。すなわち、スリット穴 1 5 に嵌合ピン 3 3 が移動することで、ツバはスリット穴 1 5 から抜けないようになる。

30

【0035】

このように基台 1 の中央部に取付け板 3 2 は固定され、この取付け板 3 2 には上記支持装置 2 5 の取着部 2 7 が取付けられる。

取付け板 3 2 の中央部 3 4 は段差を有して突出し、この中央部 3 4 の四隅に設けた L 形の嵌合穴 3 5, 3 5 . . . に取着部 2 7 の背面に設けた嵌合ピン 3 1, 3 1 . . . が係合する。該嵌合ピン 3 1 は先端にツバを有して L 形を成し、その為に幅の大きな挿入穴 3 6 に嵌合ピン 3 1 が一旦嵌り、嵌った状態で上方へ移動するならば、先端のツバが抜けないように成って、該嵌合ピン 3 1 は固定される。

40

【0036】

図 1 8 は基台 1 に支持装置 2 5 が取付けられる前の状態であり、(a) は取付け板 3 2 が基台 1 から分離し、(b) は基台 1 の背面に取付け板 3 2 が固定された状態を表している。そして、取着部 2 7 を取付け板 3 2 に取付けることで支持装置 2 5 は基台 1 に取付けられる。

ところで、支持装置 2 5 の吸着盤 2 8 は車両のフロントガラスに吸着して固定され、フレキシブルアーム 2 6 を適当な形状に湾曲することで基台 1 をフロントガラスに平行を成して配置することが出来る。ここで、基台 1 の下縁はダッシュボード面に接触することもあり、ダッシュボード面から浮上して配置することも可能である。

【0037】

50

図 19 (a) は基台 1 が支持装置 25 にて支持されている背面斜視図である。支持装置 25 の吸着盤 28 はフロントガラスに吸着して固定され、基台 1 はその傾きを適当に変えることが出来る。

図 19 (b) は基台 1 に表示板 37 を載置した場合の正面斜視図を表しているが、基台 1 に支えられると共に、下端に設けている受け 38 に表示板 37 が載置される。該表示板 37 には 123 万と表示され、適当に傾いて配置される表示板 37 の価格は遠くから見る事が出来る。

【0038】

図 20 は本発明の他の支持装置 39 を示す具体例であり、(a) は表面斜視図、(b) は裏面斜視図を表している。同図の 40 はフレキシブルアーム、27 は取着部、41 はボールをそれぞれ表している。

10

上記取着部 27 は前記図 16 に示した支持装置 25 と同じく、中央に筒 29 を起立し、この筒 29 にボール 30 が嵌合している。筒 29 に嵌合したボール 30 は回転することが出来、その為にフレキシブルアーム 40 に対して取着部 27 の向きを変えることが可能となる。そして、取着部 27 は四角形を成し、その背面には 4 本の嵌合ピン 31, 31・・・を起立している。

該嵌合ピン 31 は先端にツバを設けた L 形状を成し、前記図 17 に示した取付け板 32 に設けた嵌合穴 35, 35・・・に嵌って取着される。

【0039】

すなわち、図 20 に示す支持装置 39 の場合、取付け板 32 を基台 1 に取付ける構造、並びに取着部 27 を取付け板 32 に取付ける構造は前記支持装置 25 の場合の取付け構造と同じである。

20

図 21 は基台 1 に支持装置 39 を取付けた場合であり、(a) は基台 1 を縦長に配置しており、(b) は基台 1 を横長に配置している。背面側に取付けた支持装置 39 は基台 1 を適当な傾斜角度で傾斜して支持することが出来る。

【0040】

ところで、基台 1 の下端は車両のダッシュボード面に配置され、支持装置 39 のフレキシブルアーム 40 の先端に設けているボール 41 もダッシュボード面に載置される。該ボール 41 は湾曲した曲面であって、その為にダッシュボード面に点接触することで安定する。しかも、樹脂製のボール 41 は点接触してもダッシュボード面にキズが付くことはない。

30

【0041】

また、前記図 20 に示すように、フレキシブルアーム 40 は取着部 27 とボール 30 を介して連結している為に、図 21 (a) に示す縦長状態の基台 1 は該ボール 30 を介して回転することで、その向きを変えて図 21 (b) に示す横長状態の基台 1 にすることが出来る。基台 1 の表面には中古車の販売価格を表示した表示板が配置され、必要に応じて基台 1 の向きを変えることが可能である。

【0042】

このように、本発明の基台は上記取付け穴 6, 6・・・、13, 13・・・を設け、また係止部 3, 3・・・を設け、そして側端部には嵌合穴を貫通して設けることで、必要な部品をワンタッチで取付け出来る。また補助フレーム 16, 16・・・をワンタッチで繋ぐことが出来るように構成している。

40

【符号の説明】

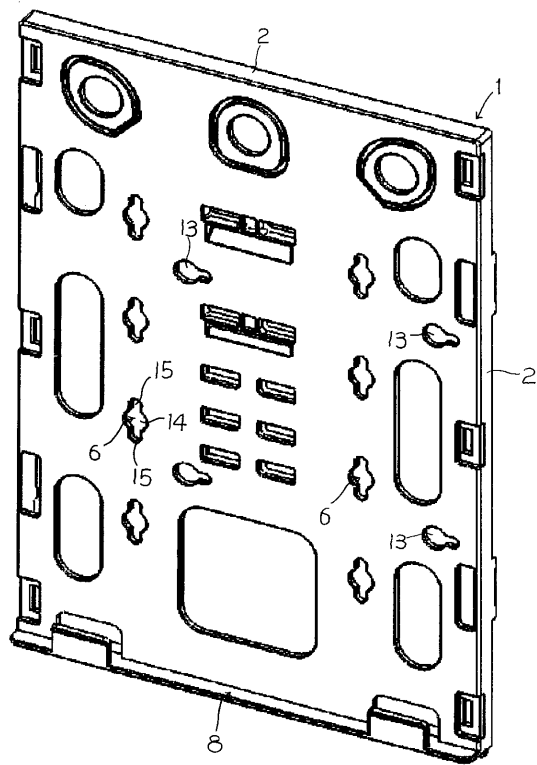
【0043】

- 1 基台
- 2 リブ
- 3 係止部
- 4 角度調整プレート
- 5 係止片
- 6 取付け穴

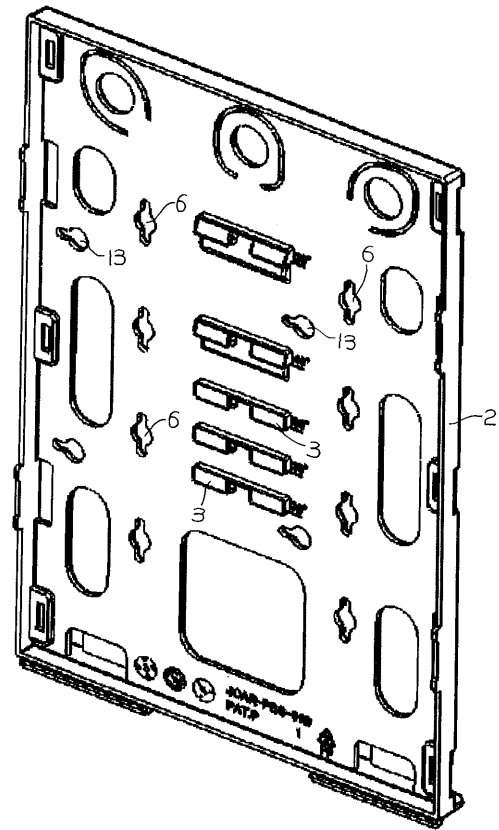
50

7	表示板	
8	受け	
9	高さ調整プレート	
10	受け板	
11	表面板	
12	嵌合ピン	
13	取付け穴	
14	挿入穴	
15	スリット穴	
16	補助フレーム	10
17	縦片	
18	突片	
19	ツメ	
20	嵌入穴	
21	表示シート	
22	補助フレーム	
23	表示シート	
24	表示板	
25	支持装置	
26	フレキシブルアーム	20
27	取着部	
28	吸着盤	
29	筒	
30	ボール	
31	嵌合ピン	
32	取付け板	
33	嵌合ピン	
34	中央部	
35	嵌合穴	
36	挿入穴	30
37	表示板	
38	受け	
39	支持装置	
40	フレキシブルアーム	
41	ボール	

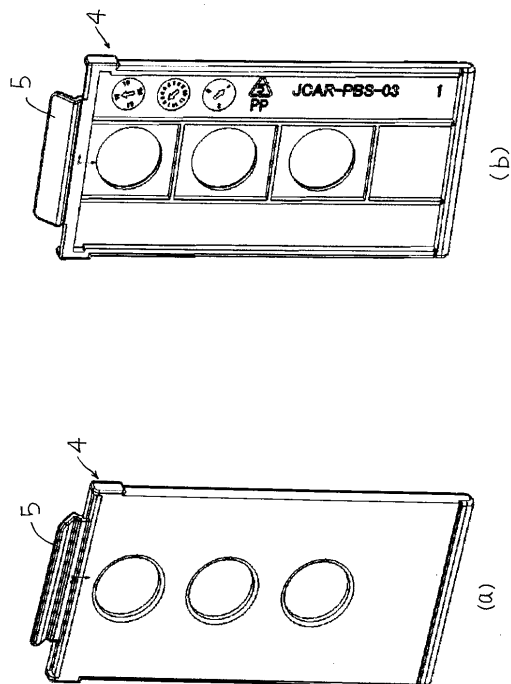
【図 1】



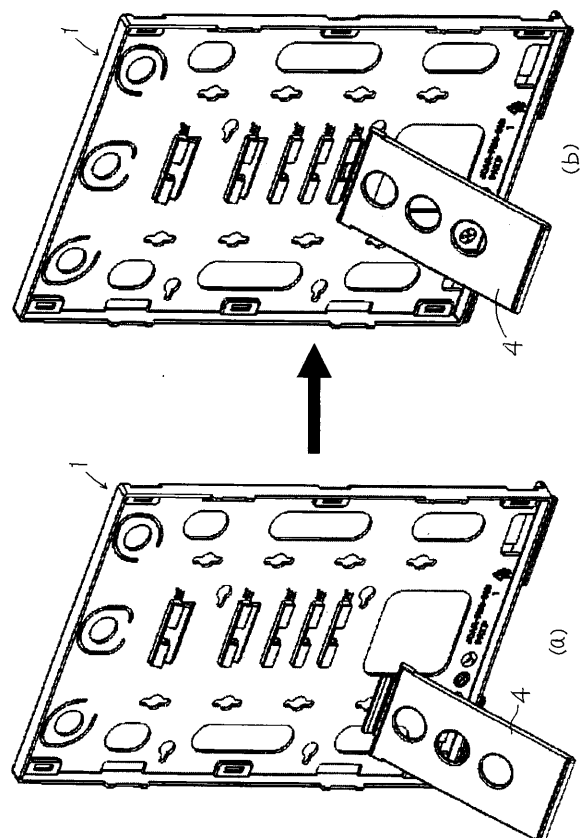
【図 2】



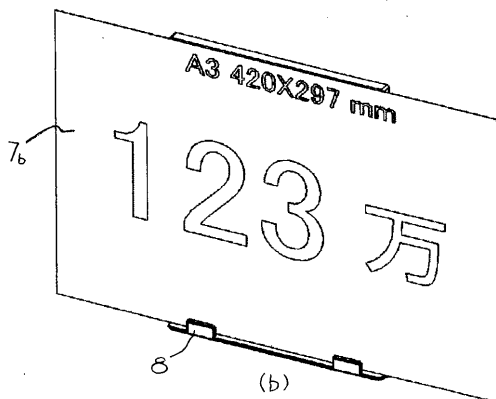
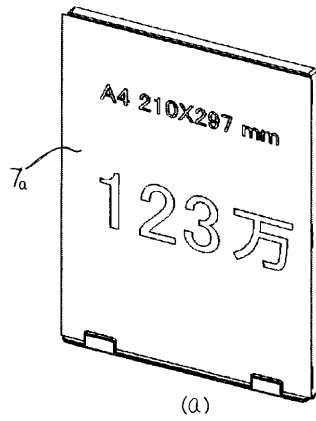
【図 3】



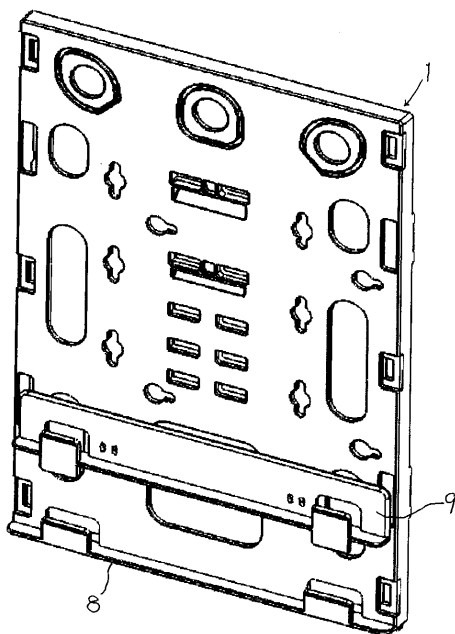
【図 4】



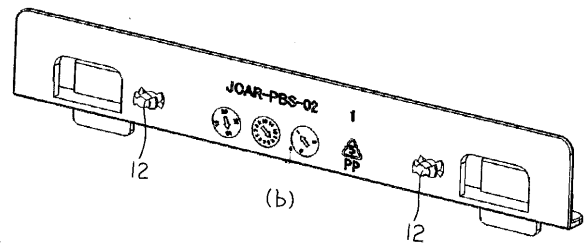
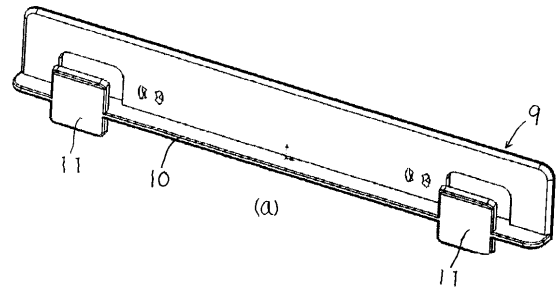
【図 5】



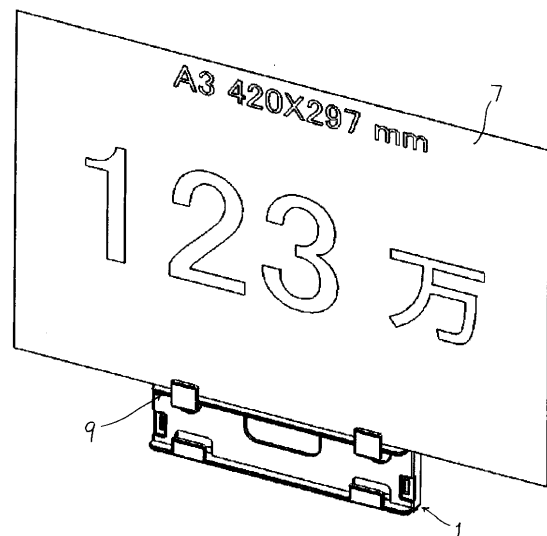
【図 7】



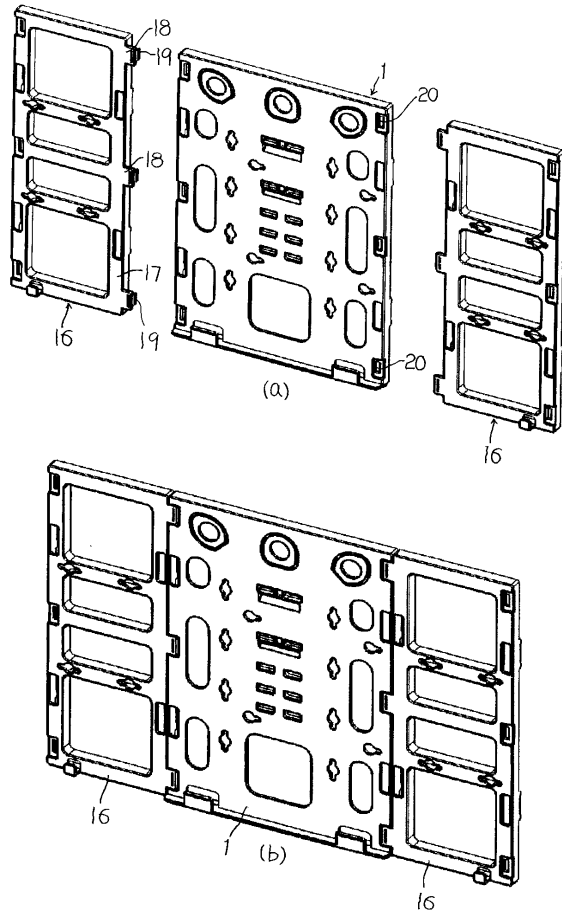
【図 6】



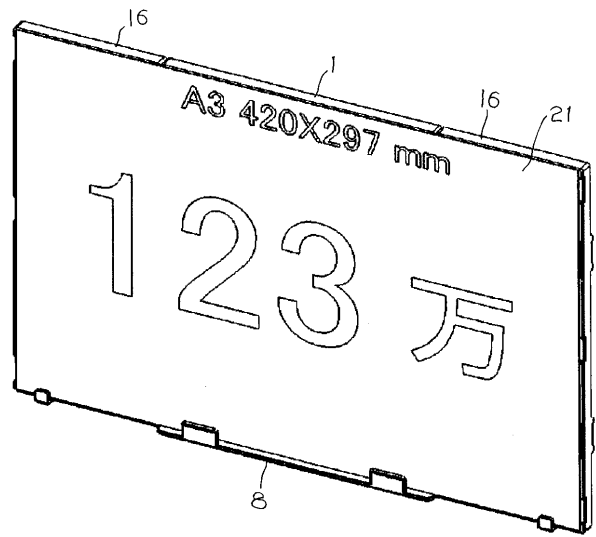
【図 8】



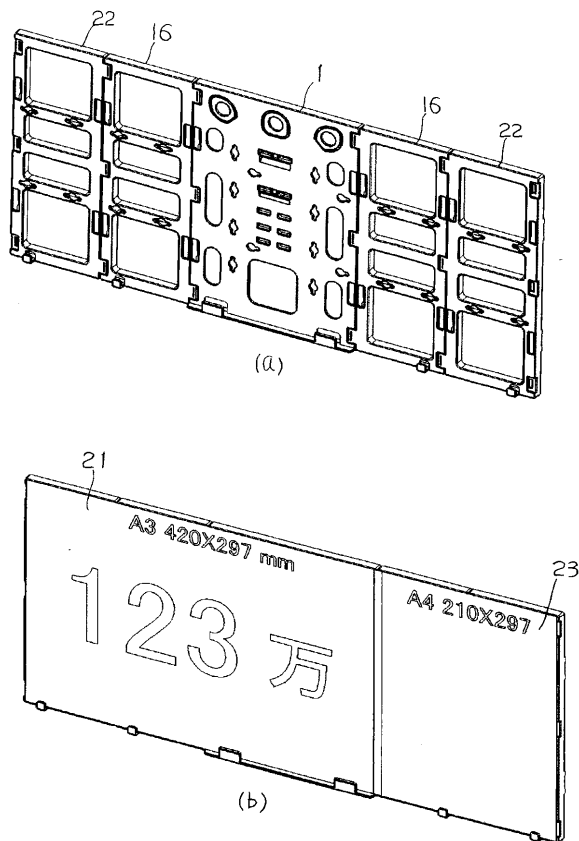
【図 9】



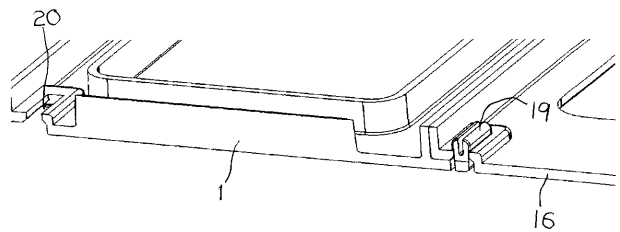
【図 10】



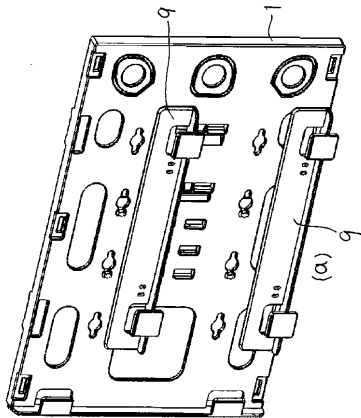
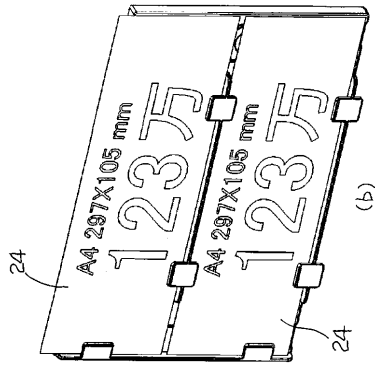
【図 11】



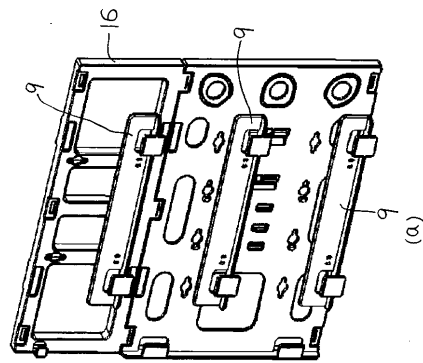
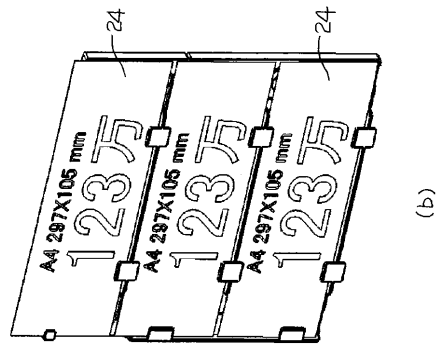
【図 12】



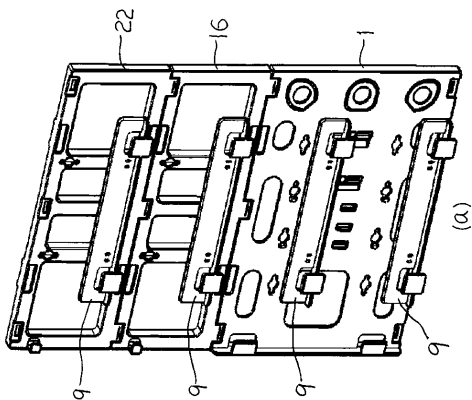
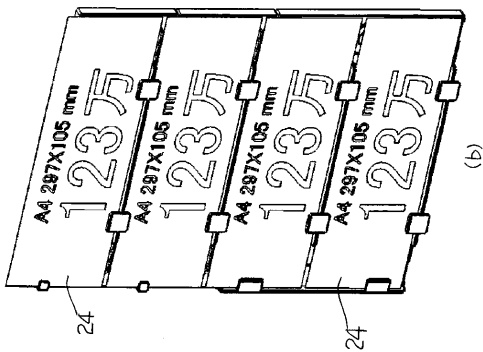
【図 13】



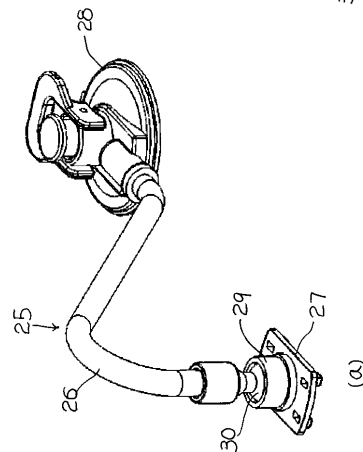
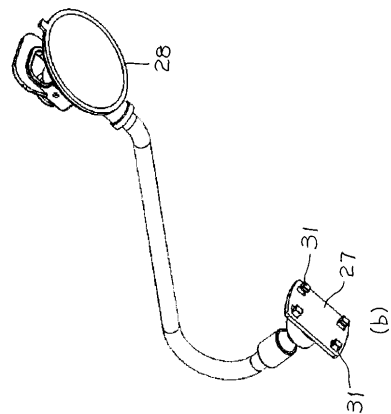
【図 14】



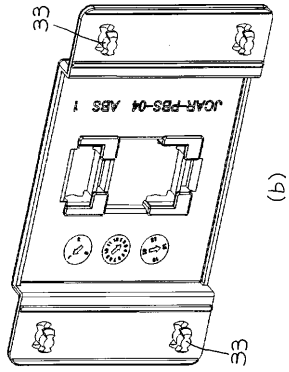
【図 15】



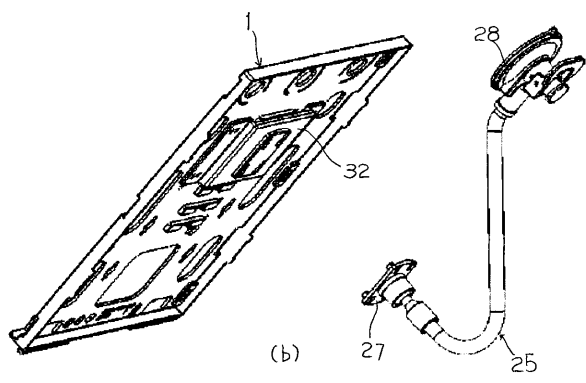
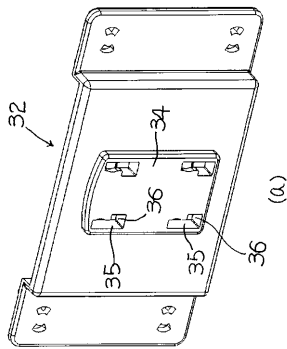
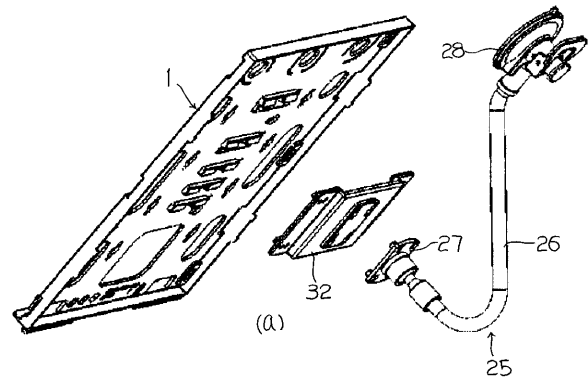
【図 16】



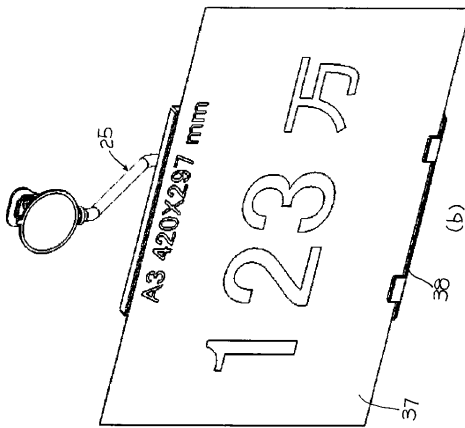
【図 17】



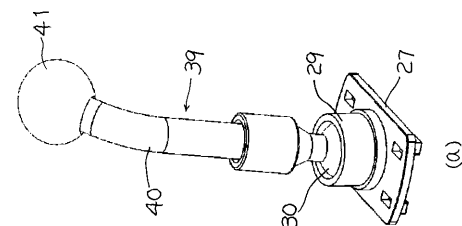
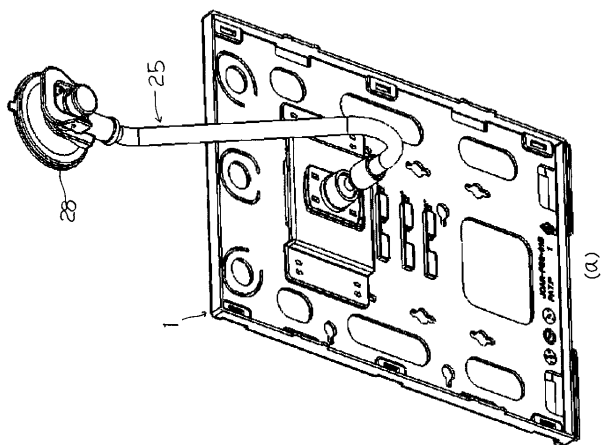
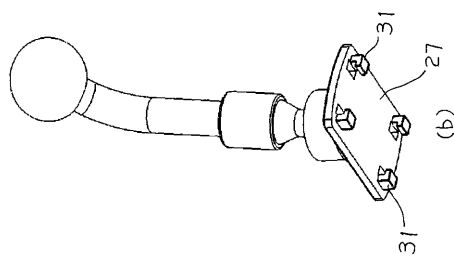
【図 18】



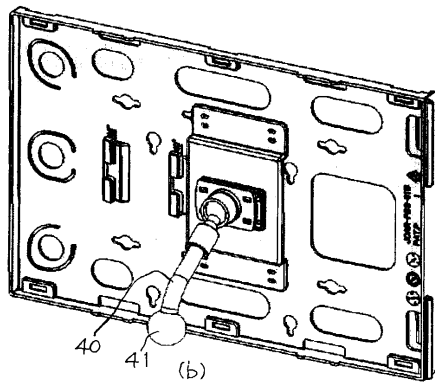
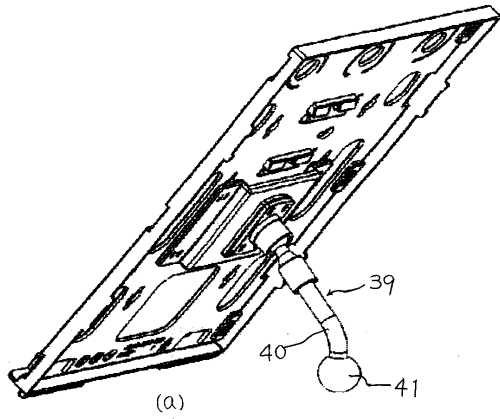
【図 19】



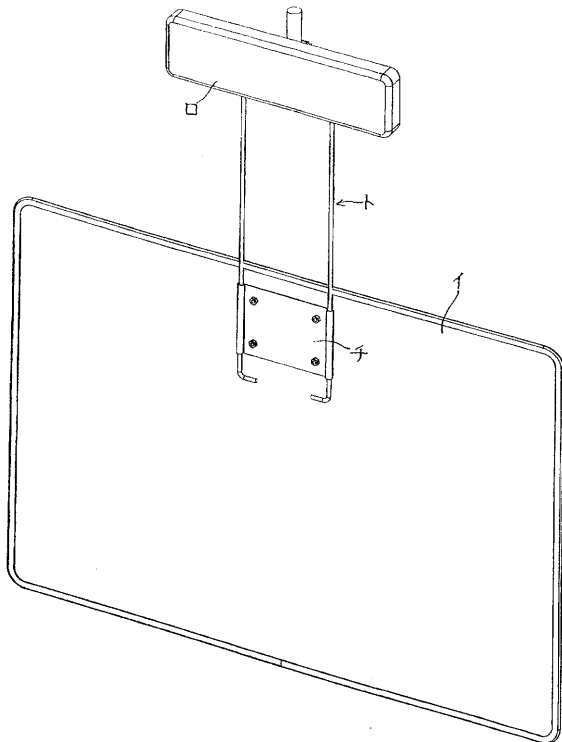
【図 20】



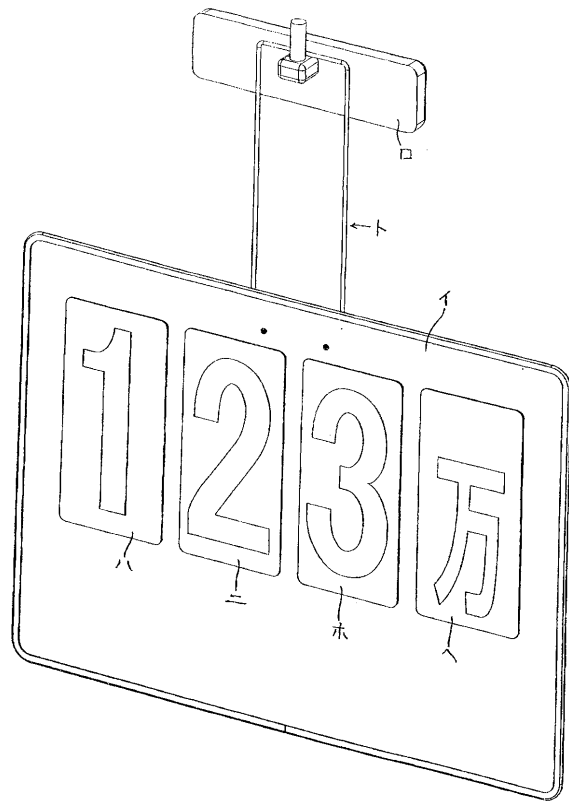
【図 2 1】



【図 2 3】



【図 2 2】



【図 2 4】

